

十返舎 一九(じっぺんしゃ いっく)

資 料

短冊『かかるものの もろくも落つ 鹿の角 いちく』

作 者

1765(明和2). 2. 8-1831(天保2). 8. 7

駿河(静岡県)生まれ。

大坂町奉行の配下として大坂へ上るが、武士を止め浄瑠璃の作者となる。後に、江戸に出て版元蔦屋重三郎のもとで、黄表紙、洒落本や滑稽本を書き人気の戯作者となる。

参考文献

『十返舎一九全集(全4)』(十返舎一九／著 日本図書センター 1979. 11 [県立 918. 5/24/1-4])

『十返舎一九研究』(中山尚夫／著 おうふう 2002. 2 [県立 913. 55/105(21484282)])

『現代語訳日本の古典(21) 東海道中膝栗毛』(学習研究社 1980. 6 [県立 918M/18/21(12041893)])

